

農業体験を通して震災復興に向けて里山で暮らす姿を学ぶ

伊達市 りょうぜん里山がっこう

SDGs17の目標
該当No.

2 11 15

【プログラムの内容】

「りょうぜん」の里山とはどのようなところか？NPO法人が運営する「りょうぜん里山学校」を窓口に、東日本大震災を経てなおその地域で暮らす人達から、里山で暮らす姿や復興に向けた取り組みを学びましょう。実際に畑へ行き、農産物生産者からの説明を受けて、生産への想いや野菜の育ち方を知り、収穫を体験します。また、収穫した野菜でピザをつくり焼きたてピザを昼食にしましょう。季節によってはくだもの狩りやあんぼ柿づくり体験などを行い、伊達市の特産品を知っていただきます。

【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット】

- ▶ゴール2（ターゲット2.4）安全な農産物の持続的な供給を通して、食に対する学びを深める。
- ▶ゴール11（ターゲット11.3）地域で暮らす人とのふれあいを通して、震災からの復興に取り組む姿から学びを深める。
- ▶ゴール15（ターゲット15.2）耕作を通じた持続的な自然の維持による森林資源に対する学びを深める。



「通信簿のない学校」！りょうぜん里山がっこう



季節の野菜の収穫体験



収穫した野菜などでピザづくり



東日本大震災からの里山での暮らしを講話

事前学習

- ▶伊達市霊山エリアの産業について調べる。
- ▶東日本大震災とその後の周辺地域の生活について調べる。
- ▶農産物生産者の想いを考える。

【施設で対応できること】

- ▶施設に関する資料の送付
- ▶ウェブサイトでの情報提供

現地学習

- ▶里山がっこうの説明
- ▶収穫体験等の体験
- ▶収穫した食材などでピザづくり
- ▶東日本大震災を経て里山で暮らす姿、復興に向けた取組の講話
- ※特産品の桃狩り体験やあんぼ柿づくり体験などは受入季節により異なるため要事前確認。



事後学習

- ▶現地で体験、学んだことを自分の普段の生活と照らし合わせて考える。
- ▶風評被害と災害との向き合い方を考える。
- ▶農産物生産者の想いから農産物に対する接し方を考える。

受入人数	10人～30人
受入可能時期（休業日）	7月～12月平日 （定休日：月曜日、火曜日）
受入可能時間	10時～15時
体験時間	4時間～5時間

対象	小学生（中学年以上）、中学生、高校生
1人/1回 当たり料金	3,500円（税込）
備考 （雨天対応等）	雨天予報時は、事前に米粉パンづくり体験に変更可。

▶問い合わせ

企業/施設名称：りょうぜん里山がっこう

担当名：高野

TEL：024-587-1082

営業時間：10時～17時

定休日：月曜日・火曜日

